

令和3年度老人保健健康増進等事業

生活援助従事者研修に関する調査研究事業

エム・アール・アイリサーチアソシエーツ株式会社

1. 事業目的

本事業では、開始から3年が経過した生活援助従事者研修について、研修制度の課題やニーズを自治体、事業者、受講者・修了者の各方面から明らかにし、47都道府県で広く行われるための普及啓発および認知向上のため、取組や成果・効果を把握することを目的として、実態調査を行い、その調査結果をもとに、今後の生活援助従事者研修制度のあり方、位置づけ、方向性を検討した。

2. 事業の内容

(1) 生活援助従事者研修等の実態調査

① 研修の実施状況等の調査（アンケート調査）

47都道府県、および令和3年度の介護員養成研修の指定研修事業者2,156か所に、自記式調査票のメール配布・回収を実施した。

② 研修の実施状況等の調査（ヒアリング調査）

アンケート調査の回答をもとに、自治体等4か所、研修実施事業者6か所、修了者4名、公益社団法人1か所を選定し、WEB会議・電話・訪問のいずれかの形式でヒアリング調査を実施した。

(2) リーフレット・パンフレット等の作成

生活援助従事者研修の認知向上および更なる普及を図る目的で、リーフレットおよびパンフレットを作成した。

3. 事業結果

(1) 生活援助従事者研修等の実態調査

① 研修の実施状況等の調査（アンケート調査）

生活援助従事者研修の実施状況と、研修を実施する自治体・事業者、および実施しない自治体・事業者が抱える課題を明らかにした。いずれの立場においても、生活援助従事者研修の認知度が低いこと、および受講者の確保が難しいことが共通の課題として挙げられた。

② 研修の実施状況等の調査（ヒアリング調査）

生活援助従事者研修実施までの経緯や目的、受講者確保の取組事例、および研修に関する課題を把握できた。また、修了者の介護現場での活躍状況、地域のボランティアとしての活躍状況、障害福祉サービスと介護の連携による生活援助従事者研修の活用などの生活援助中心型の訪問介護員に留まらない活用の可能性について、好事例を収集した。

(2) リーフレット・パンフレット等の作成

生活援助従事者研修の認知度が低いという調査結果を踏まえ、生活援助従事者研修に関わる様々な立場の人々に対し、生活援助従事者研修の認知向上および普及を図ることを目的として、生活援助従事者研修の内容や、生活援助従事者研修修了者の業務内容および活躍事例等を記載したリーフレット・パンフレットを作成した。

本事業の調査結果から明らかとなった課題に対して、検討委員会での議論などを踏まえ、生活援助従事者研修の活用と今後のあり方について、特に都道府県に取組を期待したい事項を3つの提言として整理・提案した。